



六桜花

やさしく かしく たくましく
～未来を創造的に生きる力の育成～

有田市立
初島小学校
(校長室だより)

R7・11・7

No.56

音楽会スローガン

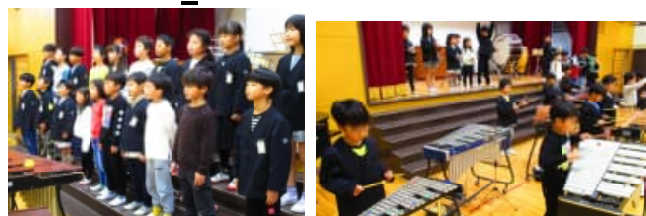
心を一つに奏でよう！ 私たちの練習の成果！

校長室に、体育館から、合唱の歌声・合奏の音色が心地よく聞こえてきています。日に日に上手になってきていて本番がとても楽しみです。

児童会会長宮田璃奈さんがスローガン発表時に全校児童に話した内容です。

音楽会のスローガンが決まりました。スローガンは「心を一つに奏でよう！私たちの練習の成果！」です。このスローガンに決めた理由は【心を一つに奏でよう！】は音楽を奏でるときに心を一つにすると音がまとまってきれいに聞こえるからです。そして、【私たちの練習の成果！】は今までがんばってきた成果を見てもらい最高の音楽にしたいと思ったからです。このスローガン達成に向けて、ふだんの練習から一生けん命とりくんでいきましょう。

1・2年生の練習風景



中学年・高学年も みんな
一生懸命がんばってます😊

11月5日「津波防災の日」

平成23年の東日本大震災では、東北地方の太平洋沿岸を襲った津波により多くの人命が失われました。これを受けて、津波から国民の生命を守ることを目的に「津波対策の推進に関する法律」が制定され、その中で11月5日が「津波防災の日」と決められています。

11月5日「世界津波の日」

平成27年12月、国連総会において、11月5日は「世界津波の日」と制定されました。

この日が「世界津波の日」とされたのは、安政元年(1854)11月5日、安政南海地震による津波がいまの広川町を襲った際、濱口梧陵が稲むらに火をつけ、津波から逃げ遅れた村人を高台へ導いて、多くの命を救った逸話「稲むらの火」の故事にちなんだものです。

「世界津波の日」制定の由来となった濱口梧陵の精神を全世界に発信し、次世代に過去の災害の教訓を伝えることで、津波防災意識のさらなる向上を目指していきます。

初島小学校でも11月5日（水）に津波避難訓練を行いました。10：00地震発生の警報が鳴りシェイクアウト訓練。地震の揺れがおさまるまで机の下にかくれました。その後、一次避難でグラウンドに集合、人員確認して、二次避難で高台に急いで避難しました。約10分で海拔25mの高台に到着しました。

日頃からの備えが重要です。これからも、津波防災の意識をしっかりとって、万が一の時には、落ち着いて最善の行動がとれるように訓練していきます。

ご家庭でも津波・豪雨に対する防災についてお話しておいてください。